

連盟だより

平成25年度第1号 平成25年12月吉日

発行 日本栄養士連盟

東京都千代田区神田神保町1-39 日本健康・栄養会館3F

TEL:03-3295-5161 FAX:03-3295-5162

1. 会長挨拶「夢は大きく、しかし常に足元をみつめて」 日本栄養士連盟会長 加藤 廣子

栄養士・管理栄養士の皆様、お元気ですか。このお役をお引受けしてから、テレビでの気象情報の見方が昔と変わっています。以前は、今日の自分の行動範囲の天気を気にしていたものが、今や北海道から沖縄まで、くまなく気になり、「ウァーもう雪？寒いだろうな」「台風？上陸しない様に！」「連日の雨、集中豪雨にならないで！」とか。なぜなら皆さんの顔が浮かぶからです。思春期に将来の自分の姿を思い、栄養士・管理栄養士の道を選び、学び、資格を取った事でしょう。今やそれぞれ生活や職場での立ち位置、そして考え方が様々と思います。

日本栄養士連盟の役割は政治を通して、身分や仕事内容を向上させるために行動します。国の機関の「官」と私達の「民」の間を取り持つのが「政治」です。お陰様で、衆参両院合わせて195名の国会議員の方々が賛同して下さり、栄養士議員連盟が出来ました。皆様の思いに心を寄せて誠心誠意行動していく心算です。どうぞ、ご理解ご賛同戴き、連盟活動に応援して戴きたく存じます。

「夢は大きく、しかし常に足元をみつめて」、お元気で活躍をお祈りいたします。

2. 平成26年度予算に対する要望書 日本栄養士連盟副会長 富田 卓邦

1. 行政への要望活動

従来の新型インフルエンザ等対策ガイドラインには、罹患者に密接することの多い事業所・施設及び医療施設の業務従事者等のうち、優先的に予防ワクチンの接種(特定接種)を受けることのできる業種を示していましたが、病床栄養指導等のために罹患者に密接する可能性の高い管理栄養士がこの中に示されていないため、平成25年4月11日、日本栄養士会専務理事と日本栄養士連盟加藤会長が帯同して内閣府に臨み、管理栄養士を加えていただきたい旨の要望と、その理由説明をしてきました。平成25年6月26日には、改定ガイドラインにおいて医療施設の管理栄養士にのみではありますが、対象者に加えられました。なお、この

要望を行うに当たり栄養士議員連盟議員の方々からのアドバイス、ご助力をいただきましたことを併せて報告します。

2. 政権政党への要望活動

平成25年11月11日 自由民主党本部における「平成26年度予算・税制に関する懇談会」(医療)に、加藤会長、澤谷幹事長が出席し、要望と理由説明をしました。管理栄養士・栄養士要望項目は、栄養士会の全職域部会の夫々に多岐・多様にあります。従来はそれらの全てを羅列しての要望をしていましたが、自由民主党幹部の方のアドバイスもあり、次の2点に特化することとし、日本栄養士会側からも承諾を得ました。一職種・業種等当たり5分間の中で、いかに相手理解可能な

説明ができるか、また、具体的な理由を述べられることが必要でした。取り上げなかった要望事項は不要ということではないことをご承知ください。

要望1 保育所での栄養士・管理栄養士の配置制度の創設

理由 厚生労働省の「設備運営基準」には「保育士、嘱託医、調理員を置く」となっているが、栄養士、管理栄養士の配置については無い。正しい食生活の基礎を築く始発点となる幼児期の食事の管理・指導等の重要性に鑑み、配置制度の創設を望む。現に有資格者が配置されている施設もあるが、栄養管理・指導業務を行っているのに「調理員の身分」であることが多い。

要望2 「管理栄養士病棟業務加算」として創設

理由 入院中の食事指導は特別食を提供している患者に対し、医師の指導のもとに行うが、栄養士会調査によれば0.8/1日人であり、入院患者の約40%が特別食患者とすると極めて低い(有益な医療の)受給率である

といえる。急性期病院で1人/65床、慢性期病院で1人/85床の管理栄養士配置の実態では、栄養食事指導が望めない。各病棟に管理栄養士を配置し、多職種連携による院内チーム医療の充実を図り、その病棟業務を評価できるものとするために、管理栄養士病棟業務加算の創設が必要である。



要望・説明をする加藤会長

3. 第1回支部長会議の概要報告

幹事長 澤谷 久枝

日時:平成25年10月24日(木) 11:00～16:00

場所:日本健康・栄養会館 3F研修ホール

議長:村田洋子支部長(福井県)

松本千秋支部長(島根県)

1. 会長挨拶

2. 来賓挨拶

当日、議員連盟会長 山東昭子参議院議員、議員連

盟事務局長 中川雅治参議院議員、議員連盟幹事長 土屋品子衆議院議員(厚生労働副大臣)の3名の先生方のご出席を賜り、それぞれご挨拶をいただきました。中でも、10月に厚労副大臣に就任された土屋氏からは、『食を通した予防医学としての栄養士の仕事は大切であり、同じ仲間の栄養士として一緒に頑張っていきましょう!!』と、力強いお言葉を頂戴し、会場は熱気に満ちました。また、日本栄養士会からは、長谷川副会長にご出席いただきました。



山東昭子先生



中川雅治先生



土屋品子先生

3. 報告

① 7地区合同会議のまとめと報告 〈富田副会長〉

② 日栄との協議会(10月13日開催)の報告〈澤谷幹事長〉

将来像の構築と推進についての説明

日本栄養士会からは、「栄養士法の改正に向けては、厚生法制研究会を立ち上げ、法制度整備に、法律集団で練り上げていく第三者の組織で研究を重ねて行く。この研究活動は、「条解 栄養士法」の編集に纏め発行し、普及をねらう。おおむね1年半の研究期間となる。」との説明がありました。

社会保障制度改革国民会議の報告

今回議論されている入院における食事療養費の自己負担増額については、10月1日に、日本栄養士会からホームページに、「入院療養における給食給付の自己負担を一律に増額することは、患者負担が増えることによって、安心安全な適切な医療を受ける立場から同意できない。」と、声明を公表しています。

日栄と連盟の連携について

重要な課題であります但具体的な望ましい連携の在り方についての協議には至りませんでした。

日本栄養士会事務局の移転について

平成26年12月迄に移転。移転先は、現在未定とのことです。

4. 協議

① 26年度会費収納について 〈松井財政部長〉

各都道府県の収納方法について、事前にアンケートをとり、意見を集約しました。

結果は、コンビニ・ゆうちょ利用(本部直納)31件、各支部で収納16件となりました。

② 27年度の会費収納は、26年度の収納結果を鑑み、決定していく事となりました。

今年度予算執行については、原資が少ない中で役員選挙が控えているため、支部長会議は2回開催となり、補正予算を組むこと、連盟日より発送1回となることの提案があり、承認されました。

5. 次期役員選出について 〈斎藤副会長〉

選挙規約に則り、会長から、選挙管理委員を指名。渡邊富雄氏(山梨県)、大留光子氏(東京都)、阿部朝子氏(愛知県)の三名が任命され、後日、告示日(平成25年11月11日)が決定されています。立候補者が無い場合は、推薦委員会の開催へと動くこととなります。

6. その他

第2回支部長会議(3月)、通常総会(6月)の日程の確認を行い、閉会となりました。

4. 活動報告

副会長 斎藤美加子

常任幹事会、幹事会等主な会議の内容については、その都度、支部長あて議事録等を送っていますが、前回の連盟日より以降の主な活動の進捗状況を報告します。

1. 要望及び陳情活動

新型インフルエンザ及び平成26年度予算等に係る要望活動については前述のとおりです。

2. 自由民主党栄養士議員連盟の再構築

平成25年1月7日、自由民主党高村副総裁、石破幹事長に平成25年度予算等についての陳情活動を行った際、加藤会長から「栄養士議員連盟が休眠状態なの

でその再構築をしていただきたい」と強く要望をいたしました。その結果、約2ヶ月後の3月15日「栄養士議員連盟総会」を100名近くの国会議員及び各都道府県支部長出席の下に開催していただきました。関係省庁関係者及び日本栄養士会会長 小松龍史氏も出席されました。その後、栄養士・管理栄養士の応援団である議員連盟の先生方からは、随時温かいご指導・ご支援をいただいています。平成25年11月7日現在の加盟議員は衆議院152名参議院43名です。なお、主だった役員は次の通りです。他に多数の顧問の先生方がいらっしゃいます。

会 長: 山東 昭子(参議院比例区)
会長代理: 鴨下 一郎(衆議院東京13区)
 鈴木 俊一(衆議院岩手2区)
副 会 長: 逢沢 一郎(衆議院岡山1区)
 遠藤 利明(衆議院山形1区)
 武見 敬三(参議院東京選挙区)
 上川 陽子(衆議院静岡1区)
 猪口 邦子(参議院千葉選挙区)
幹 事 長: 土屋 品子(衆議院埼玉13区)
幹事長代理: 山谷えり子(参議院比例区)
 西川 京子(衆議院比例区九州ブロック)
幹 事: 高階恵美子(参議院比例区)
事務局 長: 中川 雅治(参議院東京選挙区)
事務局 長代理: 上野 道子(参議院栃木選挙区)

3. 厚生労働副大臣 土屋品子議員訪問

栄養士議員連盟の土屋品子幹事長は栄養士の有資格者で、地域活動も積極的にされた経験をお持ちです。この度、厚生労働副大臣(医療・介護担当)に就任されました。私たち栄養士・管理栄養士にとって大変喜ばしく頼もしい限りです。早速、10月2日に土屋先生の

今後ますますのご活躍を期待して会長、副会長、事務局で花束を添え訪問し、お慶び申し上げます。

4. (公社)日本栄養士会との連絡協議

表裏一体の組織である日本栄養士会との連携は、公益法人化移行への問題もあり、理事会等への同席による協議ができないため、お互いの常任幹事、幹事等との連絡会議を持っています。本年10月13日に2回目を開催しました。主に、日本栄養士会の課題、平成26年度政府概算予算への要望、連盟の課題、日栄と連盟の連携などについて話し合いました。

5. その他

連盟は、政治活動をとおして、日本栄養士会の目的を達成するための組織です。今一番の課題は、会員の減少にあります。栄養士会全会員が連盟に入会いただけるよう、皆様方おひとりひとりが過去に連盟が行ってきた活動や必要性を認識できるよう、またさらには、私たちの問題解決ができるようセミナーの開催や政治活動をしっかり行いたいと考えています。ご協力方よろしくお願ひします。

5. 今後の予定

財政部長 松井 直子

1. 今後の予定(各種会議等の日程)

25.12.9	常任幹事会・選挙管理委員会	東京
26. 1.23	幹事会	東京
26.3.13/14	第2回支部長会議 (平成26・27年度役員候補者選挙 投票日)	東京
26.6.23	第39回通常総会	東京

2. 会費納入のお願い

平成26年度日本栄養士連盟会費の収納方法は、第1回支部長会議の結果、二通りの実施となりました。

①平成24年度分からスタートしたコンビニ・ゆうちょ方式(本部から振込取扱票を送付し直納する)

②独自の方式により支部で集め収納する方式

それぞれ一長一短はありますが、支部の実情も勘案し、又皆様からスムーズに納入して戴けるよう検討した結果です。「数は力」です。連盟活動の目的達成のため会費の納入をお願いします。

●平成26年度日本栄養士連盟会費につきましては、「振込取扱票」がお手元に届いた方は、お近くのコンビニエンスストア・ゆうちょ等で納入くださいますようお願いいたします。

●納入期限は、平成26年6月30日とさせていただきます。

会員の声

おねがい 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。
 連盟事務局宛に、FAX あるいはメールでも結構です。
 FAX : 03-3295-5162 E-mail : info@eiyourenmei.jp